

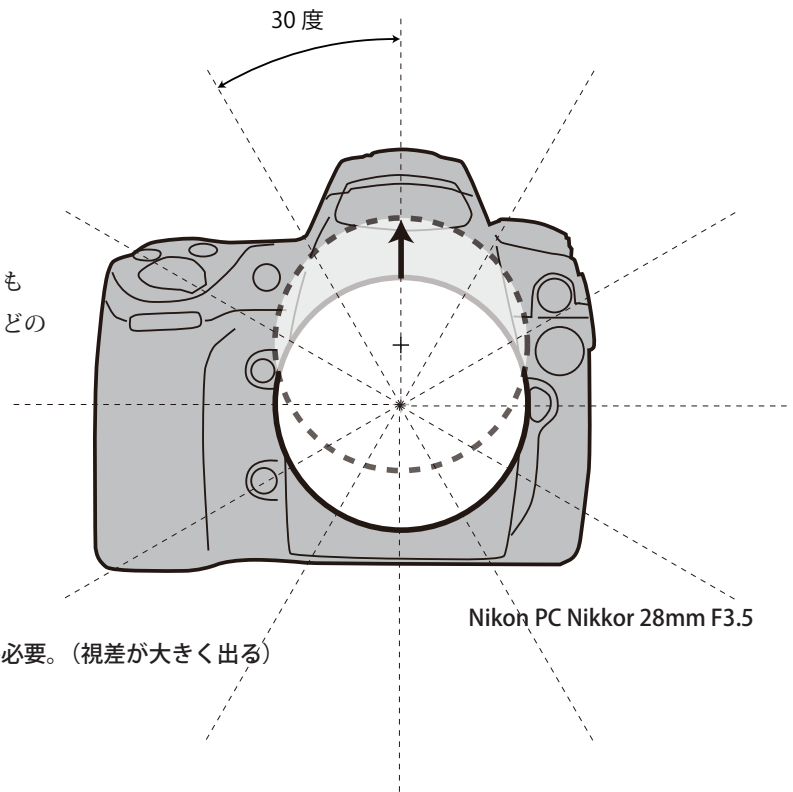
## ■シフトレンズを用いたタイリング撮影 + photomerge 合成

本来は、建築写真等、垂直 / 水平を保ったまま被写体を構図する場合に用いられる。  
シフトレンズは下図の様に、レンズを平行移動させる機構を持っている。  
その機構を利用して被写体を分割撮影して、photoshop の自動処理「photomerge」で合成し、  
より高解像度の画像を得る事が出来る。

また、合成した画像には複数の瞬間が  
混在する事になる。

撮影した一枚一枚の画像には視差が  
できる。(微妙に消失点がズレている)  
光学的には正しい合成とは言えず、  
「photomerge」でうまく合成出来たとしても  
必ずどこかに認識できるか、できないかほどの  
歪みを持った画像となる。

この様にマイナスとも思える点もあるが、  
その点こそが、  
表現効果の可能性と言えるのではないか。



※被写体がかなり手前にある場合は注意が必要。(視差が大きく出る)

## ■ Nikon PC Nikkor 28mm F3.5 を用いてのタイリング撮影

Nikon PC Nikkor 28mm F3.5 は+方向に最大 11mm レンズを並行移動させることが出来る。  
レンズを並行移動させた位置のまま 360 度回転させる事ができる。

- ①絞りを f22 に固定する (ほぼパンフォーカスが得られる)
- ②レンズをシフトさせない状態 (通常位置) でピント合わせ  
絞り値を固定させたまま、解放絞りの状態にする為のリングが付いているので、そのリングを回し解放絞りの状態にしてピントを合わせる。
- ③露出を得る  
シャッタースピードを変えてゆき適正露出を得る。  
シャッターを切ってモニターで確認して見て、露出の微調整をする。  
(モニターで拡大表示させ、ピント / 被写界深度等も確認)
- ④以下の順に 13 枚の画像を撮影
  1. 中央で 1 枚
  2. 最大シフトさせた状態で 12 枚を 30 度づつ回転させ撮影 (30 度ごとにクリックストッパーがある)

●以下の様に、分割された画像を得ることが出来る



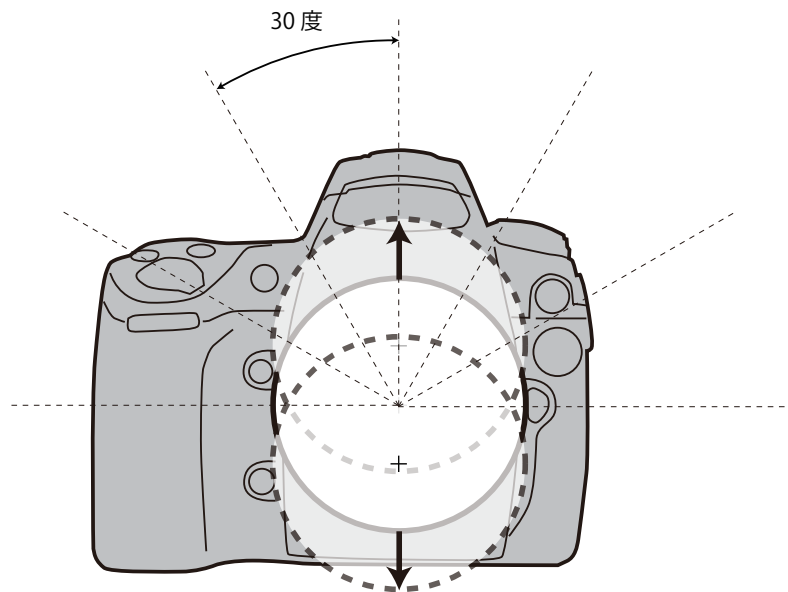


- photoshop の自動処理機能「photomerge」で合成します (レイアウトの中から「位置の変更のみ」を選択)



## ■ Nikon PC-E Micro NIKKOR 45mm F2.8D ED を用いてのタイリング撮影

Nikon PC-E Micro NIKKOR 45mm F2.8D ED は＋方向に最大 11.5mm レンズを並行移動させることができる。  
レンズを並行移動させた位置のまま、左右へ 90 度ずつで 180 度回転させる事ができる。



Nikon PC-E Micro NIKKOR 45mm F2.8D ED

### ①絞りを最小絞りロック位置 (L) に固定する (D3/D300/D700 使用時)

コマンドダイヤルで f32 を選択 (ほぼパンフォーカスが得られる)

### ②レンズをシフトさせない状態 (通常位置) でピント合わせ

絞り値を固定させたまま、解放絞りの状態でピントを合わせることが出来る。

### ③露出を得る

シャッタースピードを変えてゆき適正露出を得る。

シャッターを切ってモニターで確認して見て、露出の微調整をする。

(モニターで拡大表示させ、ピント / 被写界深度等も確認)

### ④以下の順に 13 枚の画像を撮影

1. 中央で 1 枚

2. プラスに最大シフトさせた状態と、マイナスに最大シフトさせた状態で 2 枚ずつを右に、30 度ずつ回転させ撮影 ---- 右に 90 度の位置までで 6 枚を撮影。(30 度ごとにクリックストッパーがある)

3. プラスに最大シフトさせた状態と、マイナスに最大シフトさせた状態で 2 枚ずつを、左に 30 度ずつ回転させ撮影 ---- 左に 90 度の位置までで 6 枚を撮影。(30 度ごとにクリックストッパーがある)